

平成18年9月中間期 会社説明資料

平成19年2月

 **Navitas ナビタス株式会社**

JASDAQ・6276

平成18年9月現在

商号 ナビタス株式会社

本社 大阪府堺市石津北町9-1

代表者 代表取締役社長 山下晴文

設立 昭和55年1月12日 （創業：昭和41年9月）

資本金 1, 075百万円

売上高 1, 507百万円

従業員 87名


昭和41年10月	大阪市住之江区(当時住吉区)にホットスタンプ機の専門メーカーとして、資本金200万円で、大平工業株式会社を設立。
昭和51年4月	パッド印刷機の製造販売を開始。
昭和52年7月	本社工場を大阪府堺市に移転。
昭和55年1月	大平工業株式会社(本社 堺市)を設立。大平工業株式会社(本社 大阪市)から、ホットスタンプ機およびパッド印刷機の製造販売に関する一切の業務引継ぎ開始。
昭和59年9月	大平工業株式会社(本社 大阪市)を吸収合併。
昭和60年7月	成形転写装置(IMR)を開発、発売。
昭和62年9月	商号を「大平工業株式会社」から「ナビタス株式会社」に変更。
平成元年3月	社団法人日本証券業協会において店頭登録銘柄として登録。
平成2年3月	決算期を9月20日から3月31日に変更。
平成5年10月	新本社ビル(事務所・工場)を大阪府堺市に新築。
平成6年10月	エヌアイエス株式会社(本社 堺市)を設立。(現・連結子会社)
平成16年2月	ISO9001:2000取得
平成16年10月	中国蘇州に納維達斯機械(蘇州)有限公司を設立。
平成16年10月	ISO14001:1996取得
平成18年11月	中部営業所を開設(愛知県東海市)

当社の企業集団は、当社および連結子会社1社で構成されております。

当社およびエヌアイエス株式会社の主な事業内容は、熱転写装置および関連資材・印刷装置および関連資材並びに成形転写装置および関連資材の製造販売であります。

なお、一部関連資材の加工は子会社であるエヌアイエス株式会社に委託しております。

平成18年9月中間期 決算概要

 **ナビタス株式会社**

JASDAQ・6276

当社グループは、家電業界・自動車業界・化粧品業界を中心に、新製品の検査装置や従来機種を駆使して提案型営業を積極的に展開致しました。

しかしながら、標準機の販売効果が伸び悩んだことに加え、特注機受注においても検査装置の見込案件も併せて、下期に移行された結果、当初予想した売上に結びつきませんでした。

このような状況の下、恒例のプライベートショーに加え、11月1日に開設しました中部営業所及び「名古屋プラスチック工業展」を通じて、新製品を効果的にPRし、標準機およびその関連資材の売上増を目指す一方、検査装置及び特注機の受注に向けて提案型営業を益々強化徹底してまいります。

損益計算書（連結）

ナビタス株式会社

（単位：百万円）	18年9月中間期	17年9月中間期	増減	備考
売上高	1,507	1,811	-304	特注機の受注が下期に移行
売上原価	1,082	1,250	-168	
販売費及び一般管理費	387	385	2	
営業利益	36	175	-139	
営業外収益	17	20	-3	
営業外費用	28	5	23	棚卸資産評価損25百万円
経常利益	25	190	-165	
特別利益	0	0	0	
特別損失	0	76	-76	前期に減損損失72百万円
中間（当期）純利益	26	152	-126	

貸借対照表（連結）

（単位：百万円）

	18年9月中間期	17年9月中間期	増減
流動資産	3,382	3,597	-215
固定資産	2,416	2,166	250
資産合計	5,798	5,763	35
流動負債	1,271	1,045	226
固定負債	218	249	-31
負債合計	1,490	1,294	196
少数株主持分	—	—	—
資本金	—	1,075	—
資本剰余金	—	942	—
利益剰余金	—	2,387	—
その他有価証券評価差額金	—	40	—
自己株式	—	-134	—
資本合計	—	4,311	—
負債、少数株主持分及び資本合計	—	5,606	—
資本金	1,075	—	—
資本剰余金	942	—	—
利益剰余金	2,396	—	—
自己株式	-136	—	—
株主資本合計	4,278	—	—
評価・換算差額等	30	—	—
少数株主持分	—	—	—
純資産合計	4,308	—	—
負債純資産合計	5,798	—	—

当中間連結会計期間より、「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準第5号 平成17年12月9日)及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準適用指針第8号 平成17年12月9日)を適用しております。これまでの資本の部の合計に相当する金額は4,308百万円であります。なお、当中間連結会計期間における中間連結貸借対照表の純資産の部については、中間連結財務諸表規則の改正に伴い、改正後の中間連結財務諸表規則により作成しております。

キャッシュ・フロー計算書（連結）

ナビタス株式会社

(単位：百万円)	18年9月中間期	17年9月中間期
営業活動による キャッシュ・フロー	146	344
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 393	△ 0
財務活動による キャッシュ・フロー	248	△ 223
現金及び現金同等物の 増加額	△ 20	120
現金及び現金同等物の 期首残高	1,964	1,695
現金及び現金同等物の 中間期末（期末）残高	1,965	1,815

(単位：百万円)

セグメント	18年9月中間期		17年9月中間期		比較増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	金額	増減率
印刷機器関連事業	1,507	100.0%	1,811	100.0%	-303	-16.8%
合計	1,507	100.0%	1,811	100.0%	-303	-16.8%

平成19年3月期 業績予想

 **ナビタス株式会社**

JASDAQ・6276

（単位：百万円）	19年3月期予想	18年3月期実績
売上高	3,700	3,638
経常利益	190	354
当期純利益	120	240
EPS（円）	22.28	44.62
ROE	2.8%	5.6%

EPS＝1株当たり当期純利益

ROE＝自己資本利益率

上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

経営方針

当社グループは、特殊印刷機およびその関連分野で、時代の要求に応えた優れた製品・商品を提供することによって、人々の生活を豊かで彩りあるものにし、潤いと癒しのある社会・文化の発展に貢献することを基本理念にしています。また、株主・取引先・社員など全てのステークホルダーと互いに尊重し、信頼し合って、共に向上・発展することを理念として、開かれた経営に徹した企業経営を行っております。

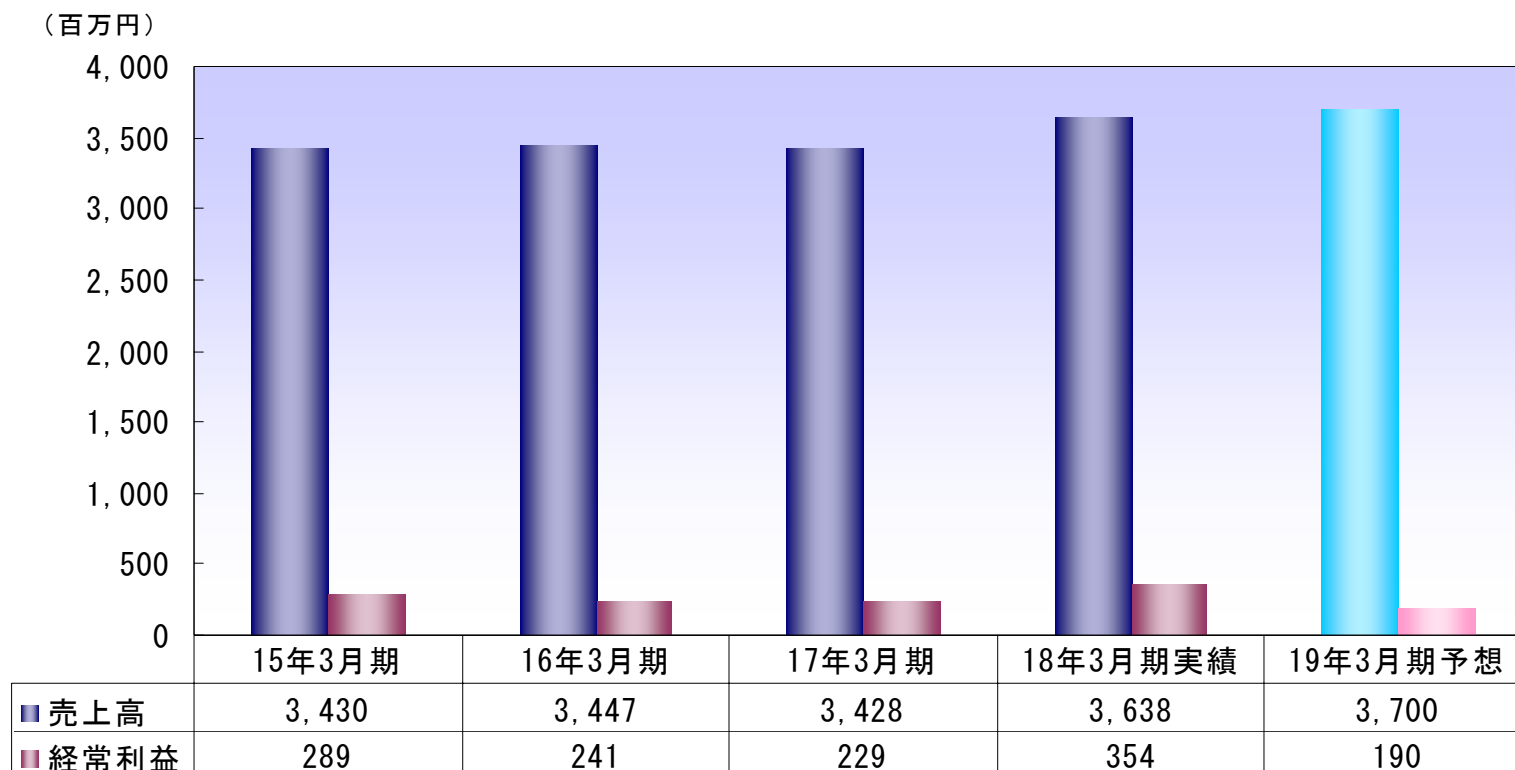
今後の取り組み

当社グループは、表面加飾・特殊印刷の原点を見つめ直すと共に、お客様からご好評をいただいておりますナビタスチェッカー（画像検査装置）をより充実させることにより、新旧の技術の相乗効果でお客様にご満足いただき、この業界に貢献することが、当社グループの社会的責任と考えております。

そのために、ナビタスチェッカーのソフト開発をより充実すること、中部営業所の開設で手薄になっておりました中部地域での営業・サービス活動をより充実させることが急務と考えております。

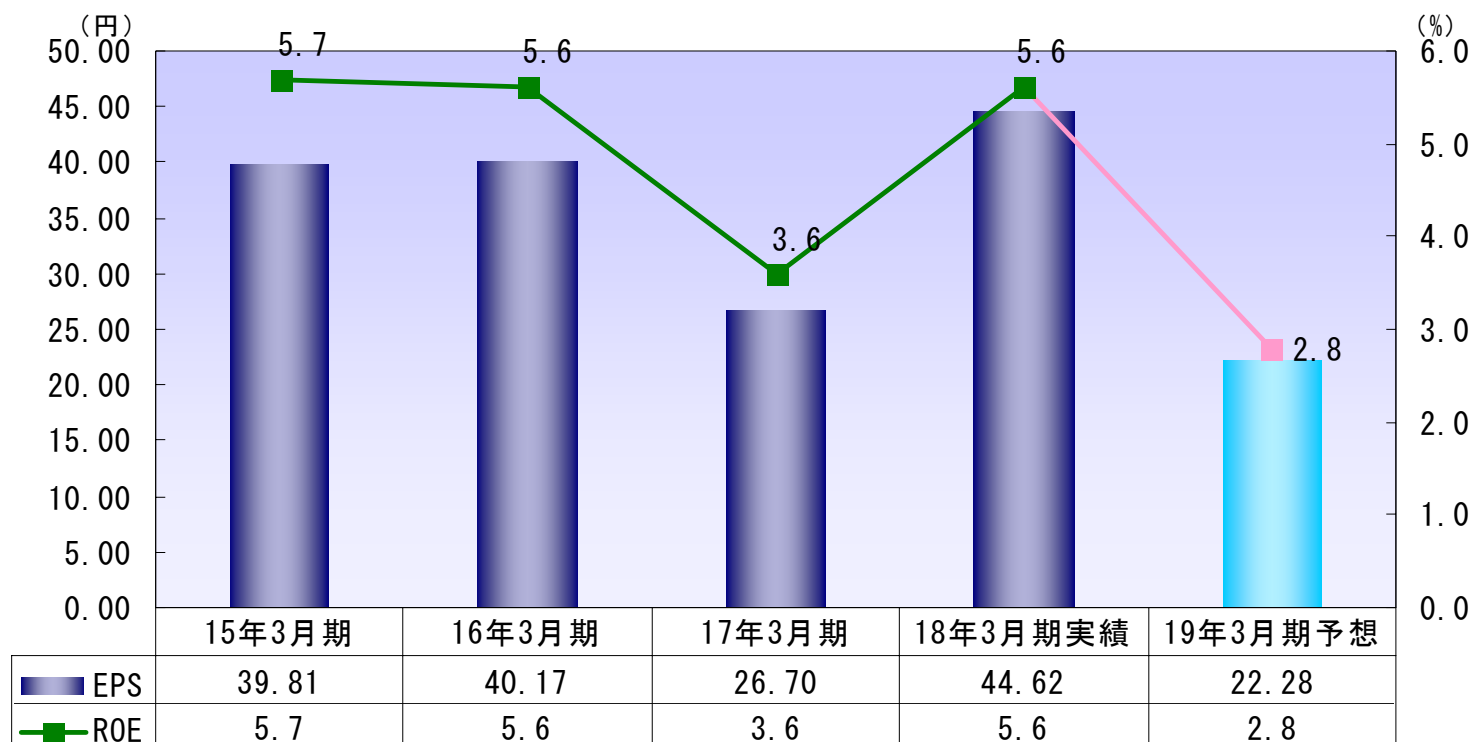
これらを最優先課題として対応することで、加飾業界の「川上から川下まで」を完全に網羅できる企業を目指します。

売上高・経常利益の推移（連結）



上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

EPS・ROEの推移（連結）



EPS=1株当たり当期純利益

ROE=自己資本利益率

上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。



ナビタス株式会社
管理部

TEL : 072-244-1231
E-mail : navitas@navitas.co.jp